

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(円)

| 実施計画書 No. | 事業名 | 事業の概要(計画申請時) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業費 | うち、交付金充当 | 事業開始 年月日 | 事業完了 年月日 | 実施状況・実績 | 効果検証 | 担当課 |
|--------------|------------------|---|------------|------------|-------------|-------------|--|---|-------|
| 1 | 農業共済支援事業 | ①新型コロナウイルス感染症拡大の影響や今後起こり得る自然災害による農業収入の減少等に備えるため、地域の農業者が農業保険(収入保険・農業共済)に加入する場合に、加入者が負担する保険料や共済掛金の一部について、農業者の負担軽減とリスクへの備えの強化を図り、もって地域農業の維持を図る。 ②農業保険法(昭和22年法律第185号)第97条第1項第1号から第5号に規定する共済事業及び同法第175条第2項に規定する農業経営収入保険事業の保険料の内、掛け捨て部分 ③予定対象者数 216名(新規加入者を含む) 補助金 5,000千円=23,100円×216名 ④農業者 | 3,620,000 | 2,722,000 | R3.6.1 | R4.3.25 | 補助金3,620,000円 内訳 ・収入保険事業 41名 2,637,000円 ・共済事業 50名 983,000円 | 補助を実施することにより、収入保険においては新規加入者が8名増え、コロナ禍における農業経営に対するリスクへの備えの強化が図られた。 | 農林課 |
| 2 | 漁業共済支援事業 | ①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う水産物の需要減による魚価の著しい低下により、水産業者の経営は厳しい状況となっている。国の新型コロナウイルス感染症対策として、価格変動による減収を補填するため、漁業共済の積立プラスの基金が積み増しを行っている。ただし、この制度は不漁や災害等を補償する漁業共済に乗せる保険で、漁業共済に加入し、漁業者も追加で積み立てをすることによって、魚価が低下した場合に発動される。漁業共済掛金を助成することによって、加入率の向上を図り、コロナによって魚価が著しく低下している漁業者の経営の安定化と事業の継続支援を行う。 ②漁業共済掛金の助成経費(漁協が実施する漁業共済のうち養殖共済及び漁獲共済で、契約保証割合30%以上の漁業共済) ③総額 230,267,638円(町負担額+自己負担額) 町負担額 20,284,000円=321,000円(漁業共済の契約者負担額の10%の平均額(上限150万円))×63名 自己負担額 209,983,638円=230,267,638円-20,284,000円 対象者数 63名 ④漁業者 | 18,670,000 | 4,000,000 | R3.5.1 | R4.5.20 | 支出額 愛南漁業協同組合 16,603,000円 久良漁業協同組合 2,067,000円 | 漁業経営者の経営の安定と事業の継続支援を図ることができた。 | 水産課 |
| 3 | eスポーツ「撃鯛杯」運営委託事業 | ①新型コロナウイルス感染症拡大により飲食業の営業自粛が続いている。愛南町特産の真鯛はこれまで、外食を中心した鮮魚、活魚が主な流通形であった。感染爆発が起きている第5波コロナ禍では更に人々の行動が制限され、オンラインショップやテイクアウト、中食、新たな加工品開発への転換や販売流通改革が求められている。愛南町では、コンビニおにぎりや真鯛カツバーガーなど新たな加工品を開発し、これまで食べてもらえなかった、若者や女性などの新規ターゲット層を獲得すべく、様々なマーケティング戦略に取り組んでいる。より多くの人々に効果的に愛南の真鯛をPRし購買につなげるための手段として、注目したのが、eスポーツデジタルマーケティングである。ソーシャルゲームを活用したオンライン大会はコロナ禍でも安全に安心して大量のプレイヤーを集めることができ、大会のライブや、アーカイブ配信で視聴率を伸ばすことが可能である。人気の高いソフトを使ったeスポーツ大会を開催し、その大会中に真鯛の情報や町の魅力を発信するとともに、獲得した消費者属性から使用しているSNSへターゲット広告を打ち込み漁協オンラインショップへ誘導したり、巣籠需要を狙ったクックパッドの新たな食べ方や簡単レシピを提案するなど、コロナで停滞する水産物の消費拡大を目指す。 ②スマホゲームを使用した公式オンライン大会の開催費、配信に要する経費 ③企画運営費 2,395,000円(台本制作、解説者外出演、機材スタッフ、景品代等) 広告費 605,000円(宣伝及び参加者募集、HP制作代) 消費税 300,000円(10%) ④地方公共団体 | 3,300,000 | 3,300,000 | R3.4.1 | R3.12.28 | 南海放送へ委託 東京ネットスから配信 使用したインターネットゲームは対戦型の第五人格 通販にゲームキャラクターアクリル板プレゼント企画実施 ゲームキャラクターイラストコンテスト実施 公式放送視聴:32,851回 大会参加者配信:10配信107,815回 公式含め15万回以上の視聴回数記録 インプレッション合計:約380,000回 参加者へは、真鯛をプレゼント 松山大学学生「愛南マダイ応援隊」が動画配信、大会中も放映 オンラインショップへ誘導したり、巣籠需要を狙ったクックパッドの新たな食べ方や簡単レシピを提案するなど、コロナで停滞する水産物の消費拡大を目指す。 ②スマホゲームを使用した公式オンライン大会の開催費、配信に要する経費 ③企画運営費 2,395,000円(台本制作、解説者外出演、機材スタッフ、景品代等) 広告費 605,000円(宣伝及び参加者募集、HP制作代) 消費税 300,000円(10%) ④地方公共団体 | 松山大学学生との連携から始まった事業であり、第2回目の大会となる。委託先が地元テレビ局である南海放送になったことから、大会の関連企画の周知や真鯛のPRも県内外へ広く行うことができた。また、SNSやYouTubeにおいては、学生が役割分担して情報発信を行ったことからインプレッションは約38万回にも及んでおり、大会開催の目的である愛南の真鯛のPRと若い年代(Z世代)への町の特産である水産業を周知することができた。また、関連企画のキャラクターアクリル板プレゼント企画においては、真鯛の端材を利用したレトルトカレーに注文が殺到してすぐに売完となり、追加発注することとなった。委託先は、これほどの成果をこの事業費で達成できたことは、通常あり得ないことであり、またeスポーツを使って地域課題の解決に取り組むことは新たなビジネスのモデルになるとの報告もあった。 | 水産課 |
| 4 | 持続化給付追加金事業 | ①長期化するコロナ禍の影響を受けている事業者で、国の持続化給付金受給者等に対し、持続化給付追加金を支給する。 ②③持続化給付追加金:20万円(上限)×100事業者=2,000万円 県費内訳 個人50千円×10件=500千円 法人100千円×1件=100千円 計 600千円 ④持続化給付金受給者及び令和3年1月以降にひと月当たり売上が30%以上減少した事業者 | 14,710,000 | 12,500,000 | R3.4.1 | R3.7.31 | 申請件数:79件 事業費:14,710,000円 | 長期化するコロナ禍の影響を受け、売上が減少している事業者に対して、事業継続のための支援ができた。 | 商工観光課 |

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(円)

| 実施計画書 N.○ | 事業名 | 事業の概要(計画申請時) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業費 | うち、交付金充当 | 事業開始 年月日 | 事業完了 年月日 | 実施状況・実績 | 効果検証 | 担当課 |
|--------------|------------------------------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|--|---|-------|
| 5 | 新型コロナウイルス感染症感染防止用品等補助事業 | ①感染防止用品又は感染防止対策物品を購入した事業者に対して、購入費用の半額を助成する。 ②③感染防止用品補助金：20,000円×1/2(上限10,000円)×100事業者=1,000,000円 感染防止対策物品補助金：40,000円×1/2(上限20,000円)×50事業者=1,000,000円 ④感染防止用品等を購入した事業者 | 479,900 | 300,000 | R3.4.1 | R4.4.15 | 申請件数：43件 事業費：479,900円 | 購入した衛生用品に対して助成を行うことにより、事業者の新型コロナウイルス感染症対策を支援することができた。 | 商工観光課 |
| 6 | 新型コロナウイルス感染症対策店舗等改装費補助事業 | ①新型コロナウイルス感染症対策のために店舗等を改装した事業者に対して、施工費用の3/4を助成する。 ②③感染防止対策店舗等改装費補助金：400,000円×3/4×20事業者=6,000,000円(上限300,000円) ④店舗等を改装した事業者 | 5,659,000 | 1,371,000 | R3.7.1 | R4.4.5 | 申請件数：22件 事業費：5,659,000円 | 店舗等の改装に対して助成を行うことにより、事業者の負担軽減を図るとともに、事業者の新型コロナウイルス感染症対策に寄与できた。 | 商工観光課 |
| 7 | 新型コロナウイルス感染症対策中小企業者経営強化補助事業 | ①国の持続化補助金又は県のコロナ対応新ビジネスモデル補助金の補助対象経費について、1/6を助成する(上乗せ助成)。 ②小規模事業者の販路開拓等やITツール導入に必要な経費 ③持続化補助金の上乗せ：45件×昨年度1件当たり実績約66,000円≒約300万円 コロナ対応新ビジネスモデル補助金の上乗せ：上限50万円×6件=300万円 ④国又は県の補助金採択を受けた事業者 | 2,811,800 | 2,500,000 | R3.7.1 | R4.3.31 | 申請件数：16件 事業費：3,262,500円 | 国及び県の補助金に上乗せ助成を行うことにより、事業者の生産性向上、新型コロナウイルス感染症対策等の取組を支援することができた。 | 商工観光課 |
| 8 | 新型コロナウイルス感染症対策プレミアム商品券発行支援事業 | ①新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に伴い、外出自粛や営業自粛の動きが強まる中、低迷する地元消費を喚起し、地域経済の活性化を図るため、プレミアム付き商品券を発行する。 ②7,500円分の商品券を5,000円で販売するための差額及び事務執行に係る経費 ③・改ざん防止用紙印刷 69,000円 ・購入引換券郵便料 857,000円 ・商品券発行 2,500円×48,000セット=120,000,000円 ・商工会への事務委託費 10,000,000円 商品券、チラシ、ポスター等印刷 4,200,000円 人件費(臨時職員)7,000円×1人×5日×4週×3か月=420,000円 警備等委託費 100,000円 商品券販売委託費 55円×48,000冊=2,640,000円 商品券換金委託費 3円×720,000枚=2,160,000円 振込手数料 100,000円 損害賠償保険 100,000円 商品券郵送料 100,000円 事務用品、コピー料 180,000円 ④愛南町商工会 | 129,237,445 | 127,500,000 | R3.9.1 | R4.1.31 | 1セット500円×15枚 販売価格5,000円 使用可能店舗：187店舗 販売セット数：47,972セット 販売総額(プレミアム除く)：239,860,000円 販売総額(プレミアム含む)：359,790,000円 使用実績額(プレミアム含む)：358,564,500円 使用実績額(プレミアムのみ)：118,704,500円 事務経費：10,532,945円 | 新型コロナウイルス感染症の拡大により外出自粛・営業自粛が多くなり消費が低迷していたが、プレミアム付きの商品券を発行することにより358,564,500円の消費を促し、もって地元事業者の下支えを行い、地域経済の活性化につなげることができた。 | 商工観光課 |

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(円)

| 実施計画書N° | 事業名 | 事業の概要(計画申請時) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業費 | うち、交付金充当 | 事業開始年月日 | 事業完了年月日 | 実施状況・実績 | 効果検証 | 担当課 |
|---------|-------------------|--|------------|------------|---------|---------|---|--|-------|
| 10 | えひめ版応援金(第2弾)事業 | ①時短要請や外出自粛等が長期化していることから、その影響を受けている事業者に対して、応援金を支給する。(愛媛県より10/10補助) ②③ 【要件】 R3年6月～9月のうち、任意の月の売上げが前(前々)年同月比で30%以上減少、又は任意の連続2か月の売上げが前(前々)年同月比で15%以上減少した事業者 ※「6月～9月の飲食店の時短営業に対する協力金」を受給した事業者は対象外 応援金 200千円×198件=39,600千円 100千円×9件=900千円 ※個人164件、法人43件(1事業者1回限り) ※愛媛県の補助対象経費について、個人には10万円を町が上乗せ助成を行うが、県の収入要件を下回る事業者には10万円を独自に助成する。 事務用品費 100千円 【財源積算内訳】 町 100千円×155件(個人)=15,500千円(上乗せ分) 100千円×9件(個人)=900千円(独自) 県 100千円×155件(個人)=15,500千円① 200千円×43件(法人)=8,600千円② 事務用品費 100千円③ ①+②+③=24,200千円 ④町内事業者 | 40,600,000 | 14,000,000 | R3.9.17 | R4.1.31 | 申請件数:207件 事業費:40,500,000円 消耗品費:100,000円 | 長期化するコロナ禍の影響を受け、売上が減少している事業者に対して、事業継続のための支援ができた。 | 商工観光課 |
| 11 | 母貝養殖緊急対策資金利子補給金事業 | ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、入札会が中止等となり、貝類養殖業者の事業継続が難しくなることが予想されるため、母貝養殖業者の経営安定を図るべく、母貝養殖緊急対策資金についても利子補給を行う。 ②利子補給金 ③母貝養殖事業者45名、貸付け金額合計84,200千円 【貸付金額内訳】 ・500千円×1名=500千円 ・700千円×1名=700千円 ・1,500千円×30名=45,000千円 ・2,000千円×2名=4,000千円 ・3,000千円×10名=30,000千円 ・4,000千円×1名=4,000千円 【事業費内訳】 利子補給率0.5% ・84,200千円×0.005=391千円(契約者ごとで契約期間が異なる) ④母貝養殖事業者 | 390,109 | 300,000 | R3.4.1 | R4.2.25 | 母貝養殖事業者45名 支出額 上期:208,757円 下期:212,198円 | 母貝養殖緊急対策資金について利子補給を行ったことで、母貝養殖事業者の経営安定が図られた。 | 水産課 |
| 12 | 商工業者利子補給事業 | ①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業活動に支障が生じている事業者の融資を促進し、経営の安定化を図るため、愛媛県新型コロナウイルス感染症対策資金の利子を県と町が0.5%ずつ補給する。 ②③資金の利子補給 11件 724,074円 ④新型コロナウイルス感染症対策資金制度利用者 | 640,856 | 600,000 | R3.4.1 | R4.3.15 | 申請件数:11件 事業費:640,856円 | 3年間実質無利子化することにより、事業者の資金繰り支援の強化を図ることができた。 | 商工観光課 |
| 13 | 中小企業緊急雇用安定助成金 | ①雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金の支給対象者に対する上乗せ助成を行う。 ②③国の支給決定額に応じた助成金 1,000,000円(国の想定支給決定額)×3/20(町の助成率)=150,000円×2件 ④雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金の支給対象者 | 54,000 | 0 | R3.4.1 | R4.3.31 | 申請件数:1件 事業費:54,000円 | 国の雇用調整助成金に上乗せ助成を行うことにより、従業員の雇用の安定を図ろうとする事業者への支援の強化を図ることができた。 | 商工観光課 |

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(円)

| 実施計画書 No. | 事業名 | 事業の概要(計画申請時) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業費 | うち、交付金充 当 | 事業開始 年月日 | 事業完了 年月日 | 実施状況・実績 | 効果検証 | 担当課 |
|--------------|----------------------|--|-----------|--------------|-------------|-------------|---|---|-------|
| 14 | みしょうMIC特産品販売所トイレ改修事業 | ①産直施設(みしょうMIC)における新型コロナウイルス感染症予防の観点から、感染対策用トイレ等への改修を行い衛生環境の改善を図る。 ②工事費 ③・自動開閉トイレ 177,000円×2台×1.1=389,400円 ・トイレ取付工賃 4,000円×2台×1.1=8,800円 ・自動水栓手洗 72,000円×5台×1.1=396,000円 ・手洗取付工賃 5,000円×5台×1.1=27,500円 ・電気工事 180,000円×1式×1.1=198,000円 ・諸経費 15,000円×1式×1.1=16,500円 計1,036,200円 ④みしょうMIC | 1,036,200 | 1,036,000 | R3.5.25 | R3.9.15 | みしょうMIC特産品販売所トイレ改修事業 工事費:1,036,200円 完成年月日:令和3年8月17日 | 産直施設(みしょうMIC)における新型コロナウイルス感染症予防の観点から、感染対策用トイレ等への改修を行い衛生環境の改善を図ることができた。 | 商工観光課 |
| 15 | ぎゅぎゅっと愛南!冬の陣事業 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが落ち込んだ町内事業者の応援及び特産品のPRのため、町内の特産品を扱う代表的なオンラインショップ3サイトの送料無料キャンペーンを実施する。 ②③・送料補助金 1,000円×3,000件=3,000,000円 (1件当たりの送料を1千円と想定) ・広告宣伝費 500,000円×1式=500,000円 (直接経費) ④オンラインショップ3サイトの利用者 | 838,894 | 500,000 | R4.1.4 | R4.3.25 | 総事業費:1,360,810円(送料・広告料) 発送件数:745件 | 新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが落ち込んだ町内事業者の応援及び特産品のPRのため、町内の特産品を扱う代表的なオンラインショップ3サイトの送料無料キャンペーンを実施し、事業効果を大きく上げ、発送数は令和2年度と比較して、全体で192%増の実績があった。 | 商工観光課 |
| 16 | 災害時防疫対策事業 | ①避難所施設等における感染症対策の強化を図るため、該当施設へアルコール消毒等の感染防止用品を設置して、避難者等の感染予防及び拡大防止を図る。 ②③新型コロナ感染症対策用 ・アルコール消毒 3,630円×100本×1.1=399,300円 ・手指消毒 2,000円×250本×1.1=550,000円 ・フェイスシールド 8,900円×10箱×1.1= 97,900円 ・ゴム手袋 800円×10箱×1.1=8,800円 ・マスク大人用 20円×5,000枚×1.1=110,000円 ・マスク子ども用 25円×5,000枚×1.1=137,500円 ④妊婦、避難所(13か所)、支所(4か所)、公民館(21か所)、放課後児童クラブ(3か所) | 1,318,871 | 700,000 | R3.4.1 | R4.3.31 | 感染防止用品 322,152円 (ハンドソープ、フェイスシールド、アクリルパーテーション等) 消毒液 569,934円 (アルボナース、アルコール等) 避難所用物品 426,785円 (パルスオキシメーター、非接触体温計、血圧計等) | 妊婦・透析患者・身体障害者などハイリスク者及び公共施設へ感染防止用品を配布し感染を防げた。 | 保健福祉課 |
| 17 | 子育て支援対策臨時特例交付金 | ①新型コロナ感染症の影響が長期化する中、国の経済支援事業対象から外れた子育て世帯を対象に、支援の公平性を図るための給付を行う。 ②③給付金 100千円×60人=6,000千円 ④18歳以下の子育て世帯 | 5,900,000 | 2,000,000 | R4.1.4 | R4.3.31 | 給付金 59人×100千円=5,900,000円 | 所得制限等で国の給付金の対象外となった世帯に対し、町独自で給付金を支給し、子育て世帯の経済的支援につながった。 | 保健福祉課 |
| 18 | 柏保育所トイレ洋式化工事 | ①新型コロナ感染症の影響が長期化する中、保育所のトイレを飛沫防止効果の高い設備へ改修することで、感染予防を図る。 ②改修に係る工事請負費 ③・幼児用洋式トイレ 45,870円×2台=91,740円 ・職員用洋式トイレ 47,410円×1台=47,410円 ・設置費等 769,450円 ・工事費計 908,600円 ④柏保育所 | 908,600 | 908,000 | R3.5.31 | R3.8.16 | トイレ洋式化工事 908,600円 ・幼児用洋式トイレ 2台 ・職員用洋式トイレ 1台 | 保育所のトイレを飛沫防止効果の高い設備へ改修することで、新型コロナ感染症の予防につながった。 | 保健福祉課 |
| 19 | 柏保育所手洗い自動水栓化工事 | ①新型コロナ感染予防のため、既存の水栓を自動水栓に改修し接触の低減を図る。 ②改修に係る工事請負費 ③・保育室壁付自動水栓 38,800円×3個=116,400円 ・園児用トイレ台付自動水栓 68,700円×2個=137,400円 ・調理室台付自動水栓 49,200円×1個=49,200円 ・設置費等 84,200円 ・工事費計 387,200円 ④柏保育所 | 387,200 | 387,000 | R3.9.3 | R3.12.27 | 手洗い自動水栓化工事 387,200円 ・保育室壁付自動水栓 3か所 ・園児用トイレ台付自動水栓 2か所 ・調理室台付自動水栓 1か所 | 既存の水栓を自動水栓に改修することで接触の低減を図り、新型コロナ感染症の予防につながった。 | 保健福祉課 |

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(円)

| 実施計画書N° | 事業名 | 事業の概要(計画申請時) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業費 | うち、交付金充当 | 事業開始年月日 | 事業完了年月日 | 実施状況・実績 | 効果検証 | 担当課 |
|---------|-----------------|---|-----------|-----------|---------|----------|--|--|-------|
| 20 | 家串保育所トイレ洋式化工事 | ①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、保育所のトイレを飛沫防止効果の高い設備へ改修することで、感染予防を図る。 ②改修に係る工事請負費 ③・幼児用洋式トイレ 45,870円×1台=45,870円 ・職員用洋式トイレ 47,630円×1台=47,630円 ・設置費等 544,500円 ・工事費計 638,000円 ④家串保育所 | 638,000 | 637,000 | R3.5.31 | R3.8.25 | トイレ洋式化工事 638,000円 ・幼児用洋式トイレ 1か所 ・職員用洋式トイレ 1か所 | 保育所のトイレを飛沫防止効果の高い設備へ改修することで、新型コロナウイルス感染症の予防につながった。 | 保健福祉課 |
| 21 | 御荘保育所手洗い自動水栓化工事 | ①新型コロナウイルス感染予防のため、既存の水栓を自動水栓に改修し接触の低減を図る。 ②改修に係る工事請負費 ③・壁付手洗場自動水栓 42,680円×8個=341,440円 ・マルチシンク台付自動水栓 58,850円×4個=235,400円 ・手洗器台付自動水栓 58,850円×1個=58,850円 ・設置費等 90,310円 ・工事費計 726,000円 ④御荘保育所 | 726,000 | 725,000 | R3.9.6 | R3.11.25 | 手洗い自動水栓化工事 726,000円 ・保育室壁付自動水栓 8か所 ・マルチシンク台付自動水栓 4か所 ・手洗器台付自動水栓 1か所 | 既存の水栓を自動水栓に改修することで接触の低減を図り、新型コロナウイルス感染症の予防につながった。 | 保健福祉課 |
| 22 | 城辺保育所手洗い自動水栓化工事 | ①新型コロナウイルス感染予防のため、既存の水栓を自動水栓に改修し接触の低減を図る。 ②改修に係る工事請負費 ③・手洗いシンク 42,680円×6個=256,080円 ・手洗器 61,050円×2個=122,100円 ・幼児用マルチシンク 61,270円×6個=367,620円 ・設置費等 189,200円 ・工事費計 935,000円 ④城辺保育所 | 935,000 | 934,000 | R3.6.22 | R3.11.5 | 手洗い自動水栓化工事 935,000円 ・手洗いシンク 6か所 ・手洗器 2か所 ・幼児用マルチシンク 6か所 | 既存の水栓を自動水栓に改修することで接触の低減を図り、新型コロナウイルス感染症の予防につながった。 | 保健福祉課 |
| 23 | 緑保育所トイレ洋式化工事 | ①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、保育所のトイレを飛沫防止効果の高い設備へ改修することで、感染予防を図る。 ②改修に係る工事請負費 ③・幼児用洋式トイレ 45,870円×2台=91,740円 ・職員用洋式トイレ 47,630円×1台=47,630円 ・厨房外トイレ 44,440円×1台=44,440円 ・設置費等 773,190円 ・工事費計 957,000円 ④緑保育所 | 957,000 | 956,000 | R3.5.31 | R3.9.27 | トイレ洋式化工事 957,000円 ・幼児用洋式トイレ 2か所 ・職員用洋式トイレ 1か所 ・厨房外トイレ 1か所 | 保育所のトイレを飛沫防止効果の高い設備へ改修することで、新型コロナウイルス感染症の予防につながった。 | 保健福祉課 |
| 24 | 緑保育所手洗い自動水栓化工事 | ①新型コロナウイルス感染予防のため、既存の水栓を自動水栓に改修し接触の低減を図る。 ②改修に係る工事請負費 ③・3歳以上児トイレ外保育室関連 壁付自動水栓 42,680円×13個=554,840円 ・職員室手洗器台付自動水栓 60,830円×1個=60,830円 ・職員用トイレ内手洗器自動水栓 42,680円×1個=42,680円 ・設置費等 386,650円 ・工事費計 1,045,000円 ④緑保育所 | 1,045,000 | 1,044,000 | R3.5.31 | R3.11.5 | 手洗い自動水栓化工事 1,045,000円 ・3歳以上児トイレ外保育室関連 壁付自動水栓 13か所 ・職員室手洗器台付自動水栓 1か所 ・職員用トイレ内手洗器自動水栓 1か所 | 既存の水栓を自動水栓に改修することで接触の低減を図り、新型コロナウイルス感染症の予防につながった。 | 保健福祉課 |
| 25 | 一本松保育所トイレ洋式化工事 | ①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、保育所のトイレを飛沫防止効果の高い設備へ改修することで、感染予防を図る。 ②改修に係る工事請負費 ③・幼児用洋式トイレ 36,740円×2台=73,480円 ・設置費等 464,420円 ・工事費計 537,900円 ④一本松保育所 | 537,900 | 537,000 | R3.6.3 | R3.7.26 | トイレ洋式化工事 537,900円 ・幼児用洋式トイレ 2か所 | 保育所のトイレを飛沫防止効果の高い設備へ改修することで、新型コロナウイルス感染症の予防につながった。 | 保健福祉課 |

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(円)

| 実施計画書No. | 事業名 | 事業の概要(計画申請時) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業費 | うち、交付金充当 | 事業開始年月日 | 事業完了年月日 | 実施状況・実績 | 効果検証 | 担当課 |
|----------|--------------------|---|-------------|-------------|---------|---------|---|---|-------|
| 26 | 一本松保育所水栓器具取替工事 | ①新型コロナウイルス感染予防のため、既存の水栓を自動水栓に改修し接触の低減を図る。 ②改修に係る工事請負費 ③・保育室壁付自動水栓 55,000円×6台=330,000円 ・職員室、調理室センサー水栓(立水栓) 52,800円×2台=105,600円 ・設置費等 25,300円 ・工事費計 460,900円 ④一本松保育所 | 460,900 | 460,000 | R3.12.2 | R4.1.17 | 手洗い自動水栓化工事 1,045,000円 ・保育室壁付自動水栓 6か所 ・職員室、調理室センサー水栓(立水栓) 2か所 | 既存の水栓を自動水栓に改修することで接触の低減を図り、新型コロナウイルス感染症の予防につながった。 | 保健福祉課 |
| 1 | 営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金 | 【協力金事業】 4/26～5/31の36日間を対象とした営業時間短縮要請に伴う協力金を支給する ①売上高方式 時短要請に協力する飲食店の売上高に応じて日額25千円～75千円の協力金 (平均)25,700円×99店舗×24日=61,080,000円 ②売上高減少額方式 時短要請に協力する飲食店の売上高に応じて日額～20万円の協力金 43千円×1店舗×24日=1,032,000円 【事務費】 ・消耗品費 350,000円 ・見回り活動等経費 493,691円 | 62,955,691 | 50,533,291 | R3.4.26 | R3.10.8 | 協力店舗数:100店 事業費:62,112,000円 消耗品費:350,000円 見回り活動等経費:493,691円 | 営業時間の短縮要請に応じた飲食店等に対して協力金を支払うことにより、事業継続の支援及び新型コロナウイルス感染症の感染防止に寄与できた。 | 商工観光課 |
| 2 | 営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金 | 【協力金事業】 5/20～5/31の12日間を対象とした営業時間短縮要請に伴う協力金を支給する ①売上高方式 時短要請に協力する飲食店の売上高に応じて日額25千円～75千円の協力金 (平均)25,200円×98店舗×12日=29,652,000円 ②売上高減少額方式 時短要請に協力する飲食店の売上高に応じて日額～20万円の協力金 43千円×1店舗×12日=516,000円 【事務費】 ・見回り活動等経費 141,693円 | 30,309,693 | 24,276,093 | R3.5.20 | R3.10.8 | 協力店舗数:99店 事業費:30,168,000円 見回り活動等経費:141,693円 | 営業時間の短縮要請に応じた飲食店等に対して協力金を支払うことにより、事業継続の支援及び新型コロナウイルス感染症の感染防止に寄与できた。 | 商工観光課 |
| 合 計 | | | 329,128,059 | 254,726,384 | | | | | |